

製品名: NSE (4C7) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03693**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	ENO2
別名	ENO2; Gamma-enolase; 2-phospho-D-glycerate hydro-lyase; Enolase 2; Neural enolase; Neuron-specific enolase; NSE
遺伝子 ID	2026
SwissProt ID	P09104
免疫原	ヒト NSE の組み換えタンパク質

背景

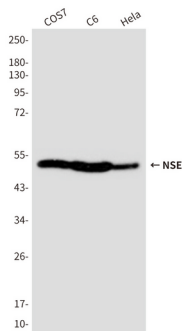
ENO2 は、2-ホスホ-D-グリセリン酸加水分解酵素活性を持つ酵素です。哺乳類に存在する 3 つのエノラーゼアイソザイムの 1 つで

す。このアイソザイムはホモ二量体であり、成熟ニューロンおよびニューロン起源の細胞に存在します。ラットおよび霊長類では、発達過程において神経組織においてαエノラーゼからγエノラーゼへの切り替えが起こります。

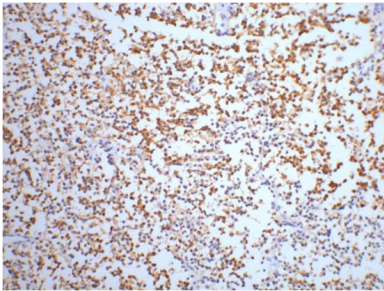
研究分野

シグナル伝達

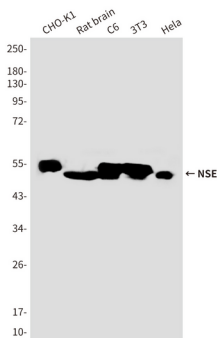
画像データ



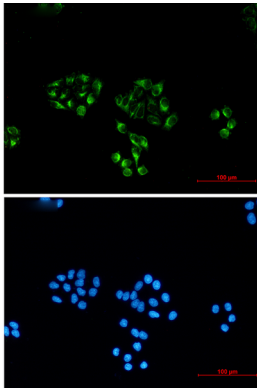
Enolase2 抗体を使用した COS7、C6、および HeLa 溶解物中の Enolase2 のウェスタンブロット分析。



NSE 抗体を使用した、パラフィン包埋ヒト肺小細胞癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



CHO-K1、ラット脳、C6、3T3、HeLa 溶解物中のエノラーゼ (4C7) 中の NSE (4C7) をエノラーゼ (4C7) 抗体を使用してウェスタンブロット分析しました。



Hela 中の NSE (4C7) (緑) の NSE (4C7) 抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析